



インカンタルのコーシャップは、その「コトバ」を  
インカンタルに伝える

インカンタルのコーシャップは、その「コトバ」を  
インカンタルに伝える



「コトバ」は、インカンタルの  
「コトバ」を伝える

「コトバ」は、インカンタルの  
「コトバ」を伝える



いや…っ！  
はなして！！

んんん？  
イスカントルの者か？

いや違うな そうなら  
こんなところに  
プチ込んだりしない

男達は三人がかりでわたしを押さえ付け  
乱暴にお尻を突き出させました

お尻を覗き込め  
彼らの思っかいが  
どんどん激しくなると  
制服が破げんばかりに  
局部を広げられました

さっき聞こえた  
ガミラスの話じゃあ  
このメスはテロン人  
で

イスカンダル人にな  
りすましたのがバレて  
ブチ込まれたらしい!

ひさしぶりの  
メスだあああっ!!  
たっぷり楽しんで  
いただこうぜ!

ってことはあの噂に聞いた  
イスカンダルの高貴なお姫様と  
瓜二つのメスにオレらのチンポコ  
ぶっ刺せるわけだ!!





わたしの局部がまる見えになると  
男達はおっという間に  
ただのケダモノになり  
襲ってきたのです!!

いやしくお尻をまさぐっていた男が  
制服のお尻の部分をもの凄力で左右に  
引き裂きました……!

こおくん可愛い穴で  
オレ達三人の巨大戦艦を  
受け止められるか心配だぜ

おっ

おっ

おっ



オマエはすぐにぶっ壊しちゃおうから後にしろっつ!!

穴は三つあるんだローテーションでいいじゃねえか!

誰が一番にわたしを犯すのか順番を争っている恐ろしい会話が首に付けられた翻訳機のおかげで理解できました



!?

あ...あ...あ...

突然下半身に激痛がはじまる瞬間にわたしの身体が宙を舞びまわった

両足を大きく広げられわたしの恥ずかしい部分に信じられないほど大きな男性の性器がゆっくりとねじ込まれていくのが見えました

キーン

グッ

いやああああ  
あああつ!!

やめてええええ  
えええええつ!

うおおおおお  
気持ちいいぜえええつ!!

あまりの激痛に上へ上へと  
身体をよじりながら  
逃げようとするのですが  
わたし自身の体重で  
下へ落ちてしまいます

男の大きな性器が  
わたしを串刺しにするように  
体内に入ってきました……!

ハッ

ズン

ズンズン

ズン



んあっ  
ぐ

ひぎいっ  
も...やめ

がはははははははははは！  
テロン人の穴は  
キツすぎてチンポコ  
ねじ切れそうだぜ！！

あまりの痛さに  
意識が遠のいて  
いきました

わたしの悲鳴が牢獄中に  
響きわたるさなか  
男が激しくわたしの身体を  
上下に揺さぶりはじめたのです

クッ

クッ

クッ

クッ





テロン人は交尾  
知らねえのかあ？  
この穴キツキツで  
全然つかって  
ねえぞっつっ!?

こんなにエロくて  
いいケツしてんのに  
もったいねえな(笑)

地面に叩き付けるように  
降ろされると男性器は  
挿入されたままで  
後から犯され続けたのです

上半身をばたつかせ抵抗すると  
すぐに両腕を押さえ付けられ  
全く身動きがとれなくなりました

あ  
あ  
あ

あ

あ  
あ  
あ

今度は頭を  
押さえ付けられて  
男性器を無理矢理  
回の中に...

んほうっ  
んぶっ

身動きの取れない状態で  
わたしは上下の穴を  
犯され続けました

このときのわたしは  
ただの性処理の  
道具にすぎませんでした

...げふ!  
ごほおっ

ぽんぽん

ちいせえ穴だなあ  
これ以上入らねえ!

すぐに奥まで  
届いちまって  
ゴリゴリするぜえ

お

お

お



はあはあはあ…  
ふあああつ！

激しく犯されていくうちだ  
ほんの少し…ほんの少しだけ  
気持ちよくなっている  
自分に気がつき  
自分自身に嫌悪感を抱きました

はあはあ…  
はうん

生死のかかった長い航海で  
いつのまにかわたしの性欲も  
溜まっていたのかも知れません



おいおい、このテロン人  
いい声で鳴きはじめたぞ

けつきよくは  
オレ達と同じで  
欲には正直なのさ  
とくに性欲にはな

わたしは男達の声に我にかえりました  
集団レイプをされている最中に快感を得るなんて  
死にたくなるほど自分を助めました

…は!?

その恥ずかしい気持ちを振り払うように  
もう一度持てる力を振り絞って抵抗しました

おほ、いいぞいいぞ  
もっと抵抗しろ！

抵抗するたびに穴が  
きゅっきゅっと絞まって  
たまらんわあ〜っ!!

身体を自由を奪われた状態で  
後ろからさらに激しく  
突き上げられました

すかさずきゅっきゅりもなると  
乱暴に力強く押さえ付けられ

はあはあ、  
いや…あ

もういやあっ!!



はあはあ……ふあああ  
おね……がいだから

もうやめてえ  
ええええっ!!

……ふうふう

テロンのメス穴は  
極上の締め具合だな  
一日中ぶち込んでいたい  
くらいだ♡

激しく身体を揺さぶられすぎたせいか  
あたみがホーツとしてしまい

自分が今どんな姿で犯されているのかも  
もうわかりませんでした……

アッ

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ

こんなにキレイな  
お姫様の尻の穴は  
どうなってんだあ？

穴の奥の奥まで  
よく見せて  
くれよっ！

やあ

…あ、ちよ!!  
いやあっつ!!

気がつくまで背後からもう一人の男が  
わたしの…わたしのお尻の穴に  
男性器を押しこめてきた

まさかと思い  
必死にお尻を動かして抵抗しましたが  
その仕草がかえって彼らを  
興奮させてしまったようでした



んんん？  
テロン人は  
尻の穴を  
使わんのか？

だったらいい機会だ  
オレが新しい快感を  
教えてやるぜえ！

ひ…べうっ！！

唾液でわたしの肛門あたりを  
べたべたに湿らすと

ものすごい力で男性器を  
お尻の穴に挿入してきたのです

がはは、こんないいメスを  
おもちゃにくれるなんて  
ガミラスも少しだけだが  
見直したぜえっ！

このメス尻の穴にチンポコ  
突っ込まれたら前の穴も  
ギョウと絞まったぞ！

いいねえっ♡  
これ気持ちいいから  
ずっつと尻の穴に  
なんかブツ刺して  
おけや！！

しかし皮肉なことにお尻の穴の痛みが  
そんなわたしを正気に戻してくれるのです

恥ずかしさと怖さで  
わたしの心は壊れる寸前でした

アッ

アッ

アッ

アッ

…はあはあ、  
はあ…はあ  
んあああうっ

は…あはあ  
ひぎいっ

わたしの下半身はすでに  
わたしの下半身ではありませんが  
この男達の性欲を満たすための  
穴でしかないのです

二人の男性器がわたしのなかで  
激しくぶつかり合います

怒

怒

怒



はあはあ  
たす…けて  
だれか…

古代…くん

くあ〜っ 気持ちイイっ!!  
イクのがもったいねえ!  
このままず〜つとちんぽこ  
入れたままにしておきてえ

はあはあ、  
…あ〜ん

「はやく終わってくれればいい」  
身をこわばらせながら  
それだけを願いました

しかしこの男達の陵辱は  
いつまでもいつまでも  
まだまだ続く気配でした

怒

怒

怒







おい、テロン人のメス！  
この屈強のガトランティスに  
犯してもらっているんだぞ  
礼のひとつも言ってみろおっ

はあはあは…  
あ、ありがとうございます  
ございませう

うむ！

それでは榮譽ある  
このガトランティスの  
遺伝子をオマエの中に  
ブチまいてやる

「とにかく早く  
この悪夢の時間が  
過ぎ去って欲しい」  
そう願ったわたしは

なにがあっても  
彼らを絶対に  
逆撫でしないよう  
言われるがままに  
すべて従ったのです

お嬢さん

お嬢さん

お嬢さん

お嬢さん

お嬢さん





あ ありがとうございます  
ございますうううう

もっとな...もっとな  
精子いっぱい  
くださいいっいっ

熱いのとっても  
気持ちいいですう  
そのままおちんちん  
抜かないでいてえっ

おふうっっっ!!

男達の欲望が旺盛な私に耐えられなかった...!!  
それは生温かくわたしの身体の中を  
流れ込んできたのです



ほう少々時間が  
かかったが  
テロシのメスも  
中々いい反応を  
するじゃねえか！

はんぱんぱん  
はんぱんぱん  
はんぱんぱん  
はんぱんぱん  
はんぱんぱん

もうだめだめえっ!!  
ガマンてきないのおっ  
おちんちんから白いの  
わたしの中にかくさん  
プチまけてえええっ!!

わたしは恥も外聞も  
すべて捨て去り  
叫び続けました

うんぱんぱんぱん...  
このおまんこは  
おまんこ

そのおまんこは  
このおまんこを  
おまんこ

お願いですからっ  
早くおまんこにも  
おしりの穴にも  
いっぱい精子出して  
くださいいいいい!





んふうっ!!  
...んん!!

わたしは腰内で何度も  
射精されたのです  
見ず知らずの  
ケタモノのよっすな  
男達に

!!

わたしのお腹の中で  
じわっと熱いものが  
広がっていくの  
を感じました...!

ん...ワシも  
出すぞおっっ

ズンズンズン

ズンズンズン

ズン

ふおおお...お出し切ったぜえ

こうする以外に仕方がなかったのだ  
これは生きて帰るための選択だったのだと何度も割り切るうとしましたが

もうたまんねえっ！  
ワシも取りあえずぶっかけさせてもらうぜえっっ！！

大粒の涙がとめどなくこぼれ落ちました

もっとおっもっとおっ  
おちんちんちようだいっ



テロンのメスは  
極上だったと  
大帝に報告だ

お願い…早く  
だれか助けて  
……!!

ふふふふ、そうだな  
テロンがガミラスの  
遊星爆弾で滅ぶ前に  
メスだけ根こそぎ捕まえ  
ガトランティスで奴隷に  
してやろう

古代…くん

ほい  
いっ  
や

ん  
ん

ん  
ん  
ん

とにかくここを  
脱出するまでは  
屈しない  
すみそうだな

おいおい少しは  
手加減しろよ  
すぐにぶっ壊れ  
ちまいそうだ  
からな(笑)

